

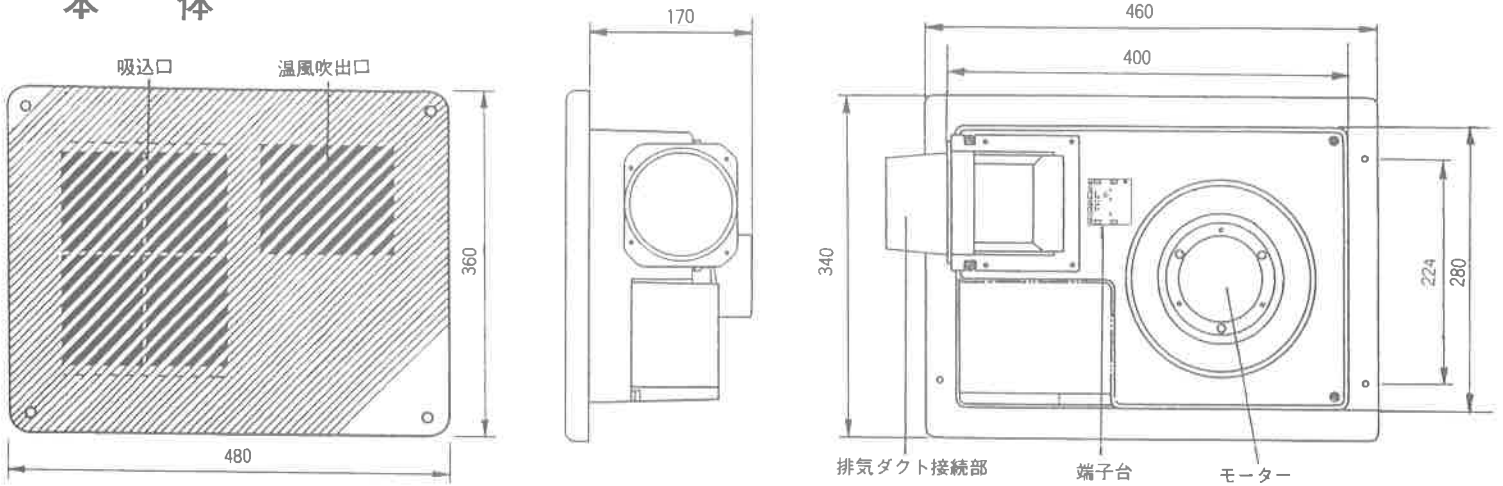
Dry-Fan 施工説明書

浴室乾燥機

BS-550

1. 部品内訳

本体



本	本	1ヶ
フ	ロ	ント	パ
ン	テ	ル	ル
リ	モ	コ	ン
付	属	品
○	本	体	取
○	本	体	、
○	フ	ロ	ン
○	埋	込	ボ
○	天	井	吊
○	本	体	取
○	コ	ー	ド
○	フ	ロ	ン

付属品

- 本体取付用ねじ (4×40) 7ヶ
- 本体、リモコン取付用ねじ (4×35) 2ヶ
- フロントパネル取付用ねじ (4×18) 4ヶ
- 埋込ボックス用リモコン取付ねじトラス (4×20) ... 2ヶ
- 天井吊下げ用木ねじ (4.1×20) 5ヶ
- 本体取付用パッキング 4ヶ
- コードブッシング 2ヶ
- フロントパネル用ねじ穴カバー 4ヶ

オプションパーツ(別売)

- パイプホルダー 一式
- 天吊金具 一式
- アース棒 1ヶ
- ベントキャップ 1ヶ

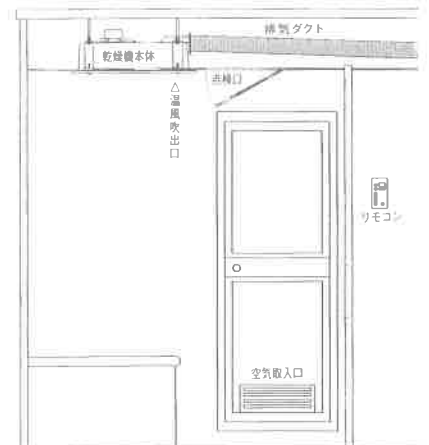
工事店さまで用意していただく部材

- (1) VVFコードφ1.6mm以上2芯コード(電源用)
- (2) アース線φ1.6mm以上の銅線、又は断面積2mm²以上の銅より線。
- (3) 金属製パイプ(φ100)
- (4) 補強材
- (5) 絶縁テープ
- (6) アルミテープ

2. 取り付け前のご注意

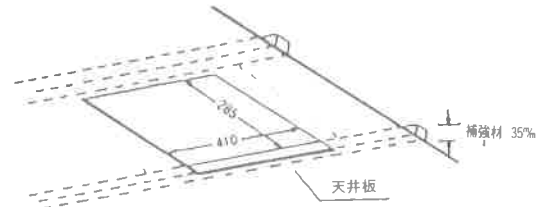
取り付けについて特に次の条件に合った場所を選ぶようにしてください。

- 1) この製品は浴室の天井取り付け専用です。その他の場所にはつけないでください。
- 2) 温風吹出口が出来るだけ浴室の中央に近くなるような位置を選んでください。
- 3) 十分な換気が行われるよう空気取り入れ口を設けてください。(通常ドアについています。)
- 4) 保守点検の出来る点検口を設けて下さい。
- 5) 天井板が弱く製品の重量に耐えない時はオプションの天吊り金具で強度のある所から吊り下げて下さい。
- 6) リモコンは必ず浴室外につけてください。浴室内に付けると故障の原因になります。
- 7) 排気ダクトは屋外に向かって下り坂になるよう傾斜させてください。

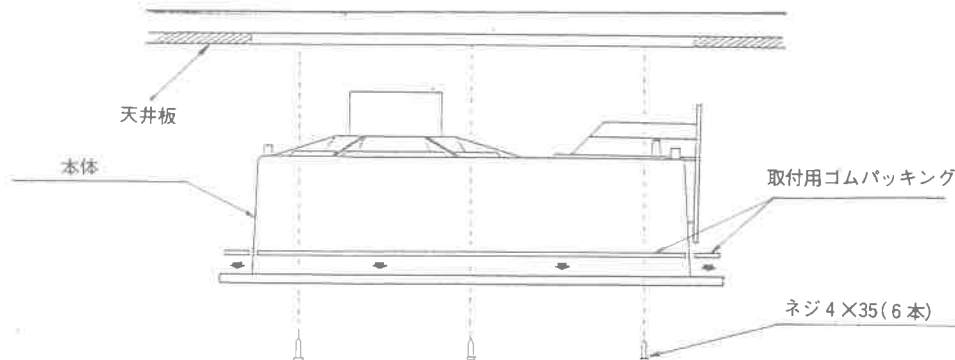


3. 本体の取り付け

- 浴室の天井に本体(400×280)が入るように孔をあけ、補強材を取付け(図1)本体と補強材を4×35ステンレスネジにて取付けて下さい。
- 天井の構造が弱い場合はクサリ、針金等にて本体を吊り上げて下さい。(付属の4mm吊り下げネジを使用)
- 本体の裏側に付属の取付用ゴムパッキング4枚を貼り、ネジ4×35(6本)で補強材に本体を取付けて下さい。(図2)



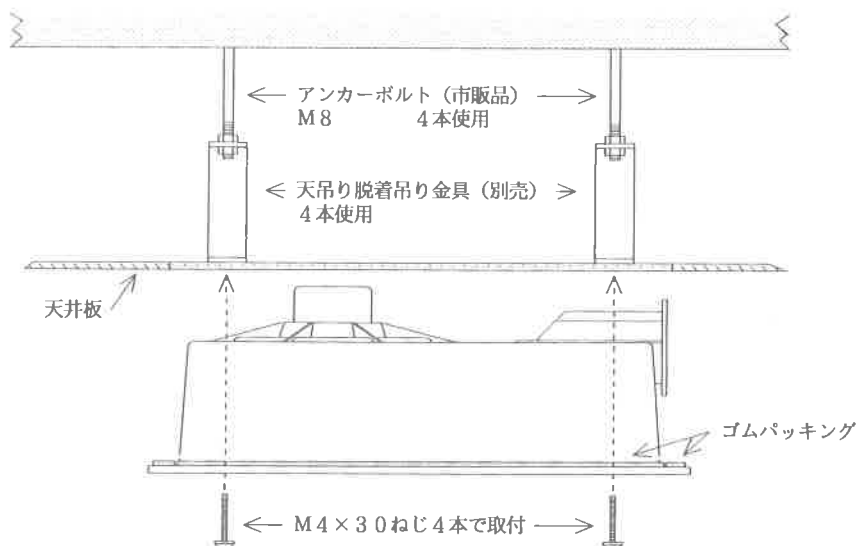
(図1)



注意：フィルターを抜き差しするためにフィルターの抜き方向に300mm以上のスペースを見込んで下さい。

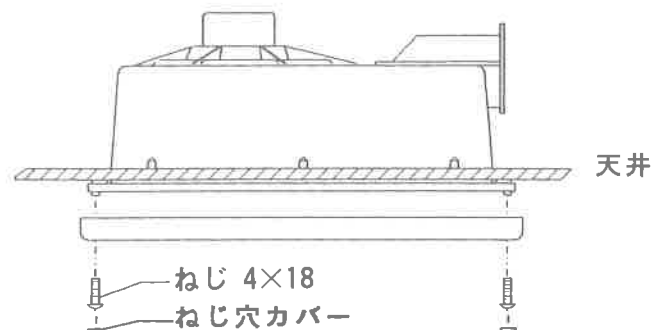
天吊り脱着吊り金具 (別売品) を使用した本体の取付け

- 天井裏上部にアンカーボルトを4本、本体の取り付け穴のピッチ(303×312)で設置して下さい。(通常はコンクリートに埋め込む) 天吊り脱着吊り金具をナットで本体取り付け面が天井板の裏側の位置に来るように取り付けして下さい。
- 天井板に本体が入る穴(410×285)と吊り金具にねじを通す穴(約φ10位)を開けて下さい。
- 本体の裏側に付属の取り付け用ゴムパッキングを4枚をはり、ねじ4×30(4本)で天井板を挟むようにして吊り金具に本体を取り付けて下さい。



4. フロントパネルの取り付け

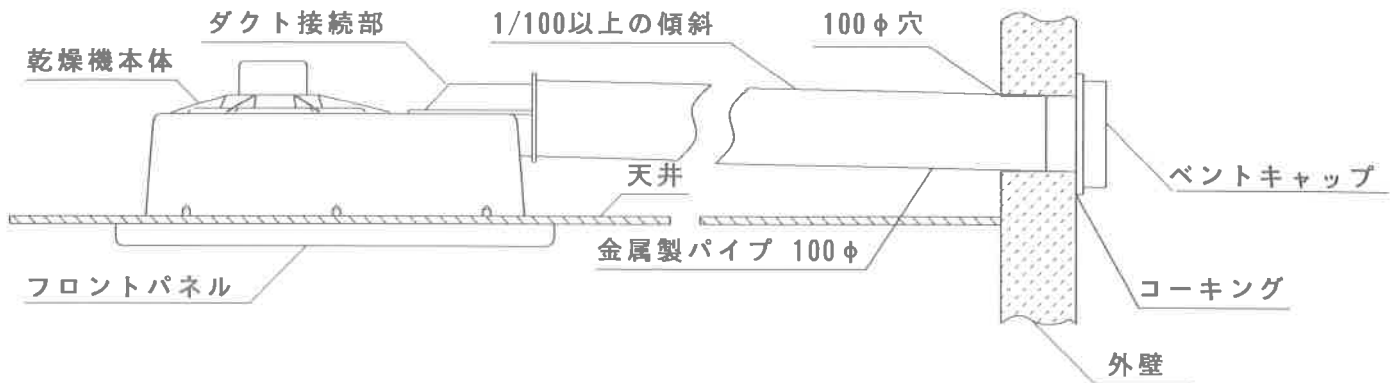
- フロントパネルの取り付けはファンの吸込口の前面にフィルターネットが来るように合わせて小ねじ(4×18)で4ヶ所を確実に締め付けてください。
- ねじの頭をかくすためねじ穴カバーをはめて下さい。



5.

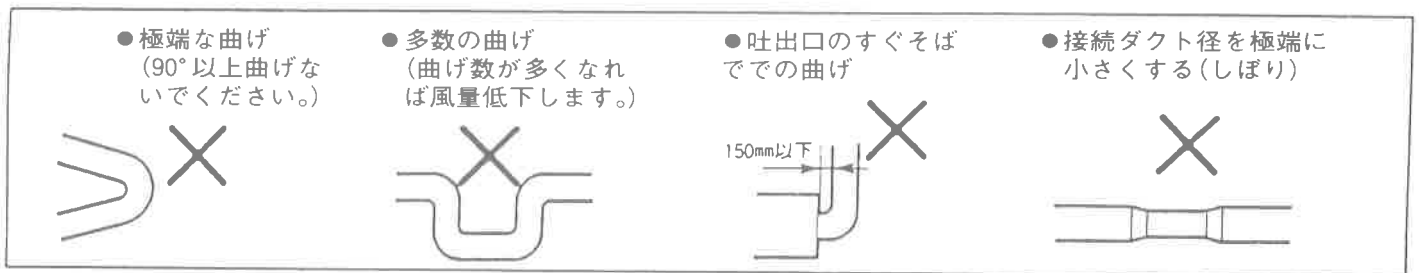
排気ダクト工事

- 外壁にベントキャップの取付孔(100φ)を開けてベントキャップ(別売)を設置してください。(下図)
- ダクト接続部とベントキャップの間を金属製パイプ100φで屋外に向かって下り勾配になるようつなぎ接続部分をアルミテープで確実に固定してください。(下図)



ダクト工事上の注意点

- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の傾斜をつけてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。

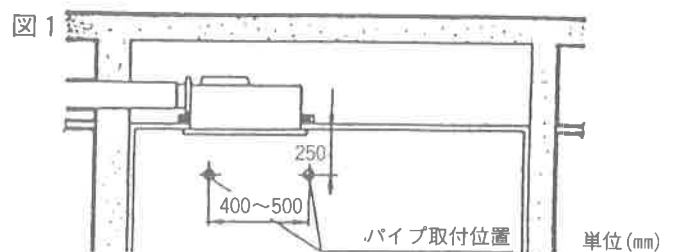


- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ(別売部品)または、雨水などの侵入を防ぐためのウェザーカー(別売部品)などを取付けることをおすすめします。

6.

ランドリーパイプの取り付け位置

- パイプを購入されるときは必ず1本当り5kg以上の荷重に耐える耐食性及び不燃性のものを取付けてください。
- パイプの取付位置は図1を基準として取付けてください。(基準の寸法以外で取付けますと乾燥時間が長くなります。)



Dry-Fan 施工説明書

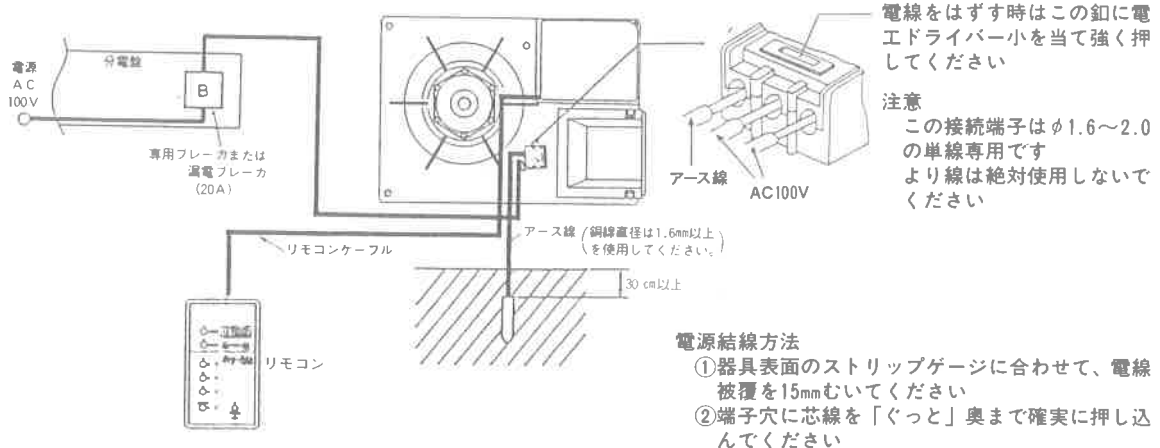
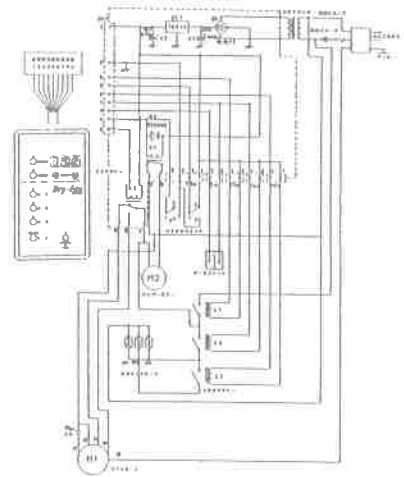
浴室乾燥機

BS-550

これより先は電気工事範囲です

7. 電気配線工事

- 1) 電気工事は、電気設備技術基準に基き、電気工事士の資格をもった方に依頼して下さい。
- 2) 本機裏側端子板に、下図のように漏電ブレーカー(20A)よりVVVFコードφ1.6mm2芯で結線して下さい。
- 3) アースは第3種接地工事に基いて、下図のようにアース線を本体のアース端子に接続して下さい。
- 4) 結線後はねじのゆるみがないことを確認して下さい。
- 5) 工事の際は、床面等を養生した上で脚立を使用して下さい。脚立はゴム足のものとし、FRP面を傷つけない、すべって転倒しないよう注意して下さい。
- 6) 天井には極力、荷重をかけないで工事をして下さい。



ご注意

- 結線を間違えますとファンが回らないなど、製品の故障となるばかりか火災の原因となることがあります。
- 電源は必ず100V電源をご使用ください。間違った電源をご使用になりますと火災の原因となります。

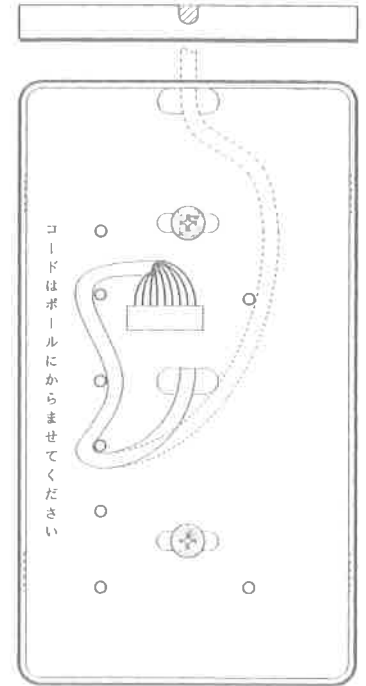
8.

リモコンの取り付け

取り付け場所の選定

- 1) 事前にご使用になるお客様と打ち合わせの上、脱衣場などの浴室に近い場所をえらんで下さい。
浴室内には絶対取り付けしないで下さい故障の原因になります。
- 2) 本体から接続するリモコンコード(4.5m、コネクター付) がとどく距離で、コードが引き出せる場所をえらんで下さい。
- 3) 壁にねじ止め出来る場所をえらんで下さい。
 あらかじめ埋め込みボックス(JIS規格の市販品)を取付けておく
 と工事がやりやすくなります。

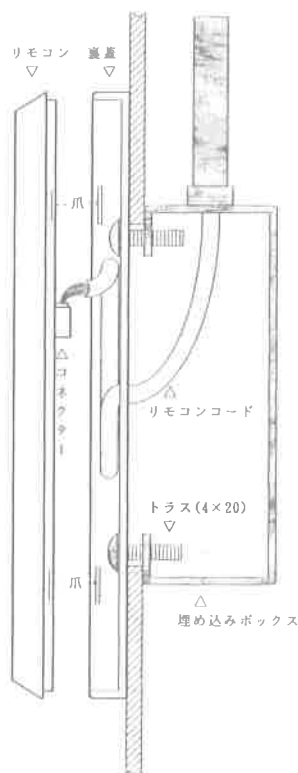
壁の中にコードが通せない場合カッターナイフ等で下の図の様にU字型の穴を明けて点線の様に上から引き出してください



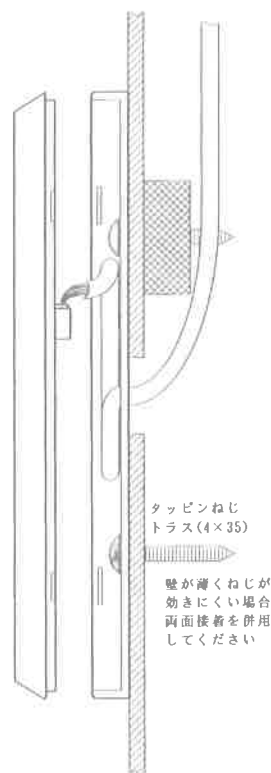
リモコンコード引き出し図

取付け方法

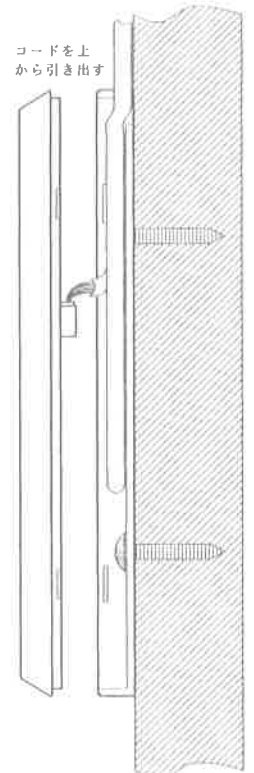
- 1) リモコンの下の所をドライバーの先のような薄い板でこじ開けて裏蓋をはずし、4mmのねじで壁面に取付け、コネクター付コードを裏蓋のコード用穴から通し、ボールにからませてコードが重ならないようにして下さい。(右図)
- 2) コネクターをリモコンの9ピンソケットに差し込みます。この時 **表面** のラベルが見えるのが正しい方向です。リモコンの爪を裏蓋に合わせて押し込み固定して下さい。
- 3) 取り付ける壁面の構造で工事方法が多少異なりますので下図を参照の上確実に取り付くようにして下さい。



スイッチボックスに取り付ける場合



壁に直接ねじどめる場合



壁の中にコードが通せない場合

9. 点検と試運転

点検

- 1) 本体が、天井に取り付けねじ6本で確実に取付けられ、フロントパネルの向きが正しい事を確認して下さい。
- 2) 排気ダクトが風漏れしないように確実に固定され、出口に向かって下り坂になっているか確認して下さい。
- 3) 分電盤の専用ブレーカーより100VがVVFコードでアース線共端子台に結線されている事を確認して下さい。
- 4) リモコンの9芯ソケットが正しい方向で確実に接続され、コードが2重に絡んでいないか確認して下さい。

試運転

- 1) ブレーカーを“ON”して通電すると、運転ランプ（緑）が点滅します。
- 2) 運転ボタンを押すと、点滅が止まり連続点灯になり、同時に温風乾燥ランプ（赤）も点灯し、時間表示が12:00を表示します。本体の風吹出口から温風が吹きだしていることを確認してください。
- 3) 涼風乾燥ボタンを押します。ボタンの上のランプ（緑）が点灯し、本体のヒーターが切れ涼風になります。
- 4) 温風乾燥と涼風乾燥は共に風量切り替えボタンは動作しません。
温風乾燥と涼風乾燥は共に開始から45分後に自動的に短時間換気動作になります。確認してください。
- 5) 暖房ボタンを押します。ボタンの上のランプ（赤）が点灯し、本体のヒーターが入り温風が吹き出します。
- 6) 涼風ボタンを押します。ボタンの上のランプ（緑）が点灯し、本体のヒーターが切れ涼風が吹き出します。
- 7) 換気ボタンを押します。ボタンの上のランプ（緑）が点灯し、本体のダンパーが動作して排気口に風を送る換気扇の動作に切り替わりますので、本体の風吹出口から風は出なくなります。
- 8) 暖房、涼風、換気の各動作では風量の強（赤）弱（緑）切り替えボタンが動作することを確認してください。
- 9) タイマーは1分刻みに残り時間を表示していますがアップ、ダウン、ボタンを押すと、1回ごとに分単位は切捨てられ1時間単位で残り時間が増減します。12:00の時アップボタンを押すと1:00に戻ります。1:00でダウンボタンを押すと12:00に上がります。残り時間が無くなるといずれの動作も自動的に停止します。
- 10) 運転動作中に運転/停止ボタンを押すと運転が停止し、すべてのランプが消えますが、本体も停止していることを確認してください。
- 11) 停止から再度運転ボタンを押すと緑の運転ランプが点灯し、同時に最後に設定した動作で運転を再開します。
- 12) リセットの穴に棲楊枝のような細い棒を差し込み奥にあるボタンを押してください。1)で最初に通電した時と同じ状態になります。（このボタンはマイクロコンピュータが何らかの理由で誤動作したとき、正常に戻すためのボタンですから通常使用しません）
- 13) 最後に運転/停止ボタンを押して運転を停止させて、試運転を終わって下さい。

(注) 各ボタンは押すとランプの表示はすぐ変わりますが、本体の動作は少し遅れることがあります。これはダンパーなどの機械動作に時間が掛かるためで、異常ではありません。

10. 各部の名称と寸法

リモコン

